

平成 24 年 2 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成 23 年 7 月 14 日

上 場 会 社 名 株式会社ライフフーズ 上場取引所 大
 コード番号 3065 URL <http://www.meshiya.co.jp>
 代 表 者 （役職名） 代表取締役会長兼社長 （氏名） 清水三夫
 問合せ先責任者 （役職名） 常務取締役兼執行役員 （氏名） 吉岡利行 (TEL) 06-6338-8331
 総務本部長兼経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 7 月 15 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 2 月期第 1 四半期の業績（平成 23 年 3 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
24 年 2 月期第 1 四半期	3,005 2.5	109 72.6	114 56.6	53 72.5
23 年 2 月期第 1 四半期	2,931 △2.3	63 7.0	72 7.4	31 △27.4

	1 株 当 たり 四半期純利益	潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	円 銭	円 銭
24 年 2 月期第 1 四半期	2 94	—
23 年 2 月期第 1 四半期	1 70	—

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
24 年 2 月期第 1 四半期	8,213	3,254	39.6	177 82
23 年 2 月期	7,887	3,200	40.6	174 87

(参考) 自己資本 24 年 2 月期第 1 四半期 3,254 百万円 23 年 2 月期 3,200 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 2 月期	—	0 00	—	0 00	0 00
23 年 2 月期	—	—	—	—	—
24 年 2 月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成 24 年 2 月期の業績予想（平成 23 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 29 日）

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
第 2 四半期(累計)	5,976 △0.2	165 6.3	169 △0.9	46 —	2 54
通 期	11,789 1.1	218 16.3	228 7.1	32 —	1 79

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年2月期1Q	18,302,000株	23年2月期	18,302,000株
24年2月期1Q	1,667株	23年2月期	1,667株
24年2月期1Q	18,300,333株	23年2月期1Q	18,300,333株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第1四半期累計期間】	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国の経済は、一部に景気の持ち直しが見受けられましたが、雇用情勢の厳しさから個人消費の低迷が続いております。また、継続的な円高や海外情勢が不安定な環境の中で、3月11日に発生した東日本大震災により経済活動は急速に落ち込み、電力供給不安等震災による影響が甚大であり先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、原発問題による自粛ムードが高まり、来店客数の減少で厳しい経営環境が続いております。当社におきましては、東日本で営業活動をおこなっていないため、直接的な被害はありませんでした。震災により一部では不足した商品がありましたが、代替商品で対応し、お客様には安全・安心な商品を供給してまいりました。

このような環境の中、一汁三菜をコンセプトに、旬の素材を使った高品質とおいしさにこだわった低価格定食屋業態「街かど屋」を事業の柱として店舗展開をおこなっております。並行して、できたてメニューにこだわった「ザめしや」等の既存店舗の強化と、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めております。

また、販売促進活動を実施しており、「讃岐製麺」ではうどん5杯食べたらず1杯無料等のいっぱい食べて1杯お得キャンペーン、「街かど屋」ではスタンプカードや携帯クーポンメールの配信等、消費者ニーズに対応したフェアを通じて企業価値の向上に努めております。

当第1四半期会計期間の店舗展開につきましては、新規出店が3店舗、閉店が2店舗となった結果、店舗数は119店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期会計期間の業績は、既存店売上高の増加による影響で、売上高は3,005,302千円(前年同四半期比 2.5%増)、営業利益は賃借料の減少等コスト削減効果の影響で109,688千円(前年同四半期比 72.6%増)、経常利益は114,245千円(前年同四半期比 56.6%増)、四半期純利益は53,743千円(前年同四半期比 72.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により4,354,574千円(前事業年度末は3,973,804千円)となりました。設備投資や納税等の支払いがありましたが、銀行から400,000千円の資金調達をしたことにより現金及び預金等が増加したためです。有形固定資産は、新規出店による資産計上の影響で2,100,836千円(前事業年度末は2,077,930千円)、投資その他の資産は差入保証金の回収が進んだことで1,715,070千円(前事業年度末は1,791,198千円)となり、資産の部合計は、8,213,461千円(前事業年度末は7,887,007千円)となりました。

(負債の部)

流動負債は、買掛金の増加等により、2,107,764千円(前事業年度末は2,089,201千円)となりました。固定負債は、社債及び長期借入金の増加等により2,851,612千円(前事業年度末は2,597,599千円)となり、負債の部合計は4,959,377千円(前事業年度末は4,686,801千円)となりました。

(純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の増加等により3,254,084千円(前事業年度末は3,200,205千円)となりました。これにより、当第1四半期会計期間末の自己資本比率は39.6%(前事業年度末は40.6%)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきまして、平成23年4月18日に公表しました内容に変更はありません。

「街かど屋」業態の新規出店と既存店売上高の回復を推進し、スクラップ&ビルドにより出・退店は新規出店12店舗、閉店5店舗で次期店舗数は125店舗を予定しております。

当期の見通しとしましては、売上高は11,789,085千円(前年同期比 1.1%増)、営業利益は218,209千円(前年同期比 16.3%増)、経常利益は228,900千円(前年同期比 7.1%増)、当期純利益は32,700千円(前年同期は当期純損失 222,667千円)を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

- ・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一次差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第1四半期会計期間の営業利益は1,296千円、経常利益は1,386千円それぞれ減少し、税引前四半期純利益は60,110千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による差入保証金の変動額は58,724千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成23年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,889,497	3,485,807
売掛金	8,943	9,175
商品	7,669	6,695
原材料及び貯蔵品	56,027	50,887
繰延税金資産	114,597	113,395
その他	277,839	307,843
流動資産合計	4,354,574	3,973,804
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,830,606	1,821,510
その他	270,229	256,420
有形固定資産合計	2,100,836	2,077,930
無形固定資産	42,980	44,073
投資その他の資産		
差入保証金	1,316,150	1,408,473
繰延税金資産	234,928	212,789
その他	164,501	170,445
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,715,070	1,791,198
固定資産合計	3,858,887	3,913,202
資産合計	8,213,461	7,887,007
負債の部		
流動負債		
買掛金	324,873	282,764
1年内償還予定の社債	40,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	781,260	901,297
未払法人税等	18,787	62,482
賞与引当金	168,143	111,776
その他	774,700	710,880
流動負債合計	2,107,764	2,089,201
固定負債		
社債	140,000	70,000
長期借入金	1,838,325	1,638,600
長期預り保証金	158,276	162,364
退職給付引当金	257,068	256,581
その他の引当金	66,691	65,787
その他	391,250	404,266
固定負債合計	2,851,612	2,597,599
負債合計	4,959,377	4,686,801

(単位：千円)

	当第 1 四半期会計期間末 (平成23年 5 月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年 2 月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	△121,585	△175,329
自己株式	△382	△382
株主資本合計	3,254,084	3,200,341
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	—	△135
評価・換算差額等合計	—	△135
純資産合計	3,254,084	3,200,205
負債純資産合計	8,213,461	7,887,007

(2) 四半期損益計算書

【第 1 四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成22年 3 月 1 日 至 平成22年 5 月31日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成23年 3 月 1 日 至 平成23年 5 月31日)
売上高	2,931,748	3,005,302
売上原価	869,970	892,914
売上総利益	2,061,778	2,112,388
販売費及び一般管理費	1,998,230	2,002,699
営業利益	63,548	109,688
営業外収益		
受取利息	1,971	1,611
受取家賃	67,771	66,112
その他	16,911	13,066
営業外収益合計	86,653	80,791
営業外費用		
支払利息	10,239	11,601
賃貸収入原価	64,414	62,165
その他	2,572	2,466
営業外費用合計	77,225	76,234
経常利益	72,976	114,245
特別利益		
過年度損益修正益	—	2,739
特別利益合計	—	2,739
特別損失		
有形固定資産除却損	9,211	12,015
固定資産臨時償却費	18,427	—
店舗閉鎖損失	10,151	5,027
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	58,724
その他	4,808	—
特別損失合計	42,598	75,766
税引前四半期純利益	30,378	41,217
法人税等	△773	△12,526
四半期純利益	31,151	53,743

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。